

## ● 材質・仕上げ



	CUAB-A
ブラケット本体	A6063 アルマイト処理
カバー	アルミダイカスト 静電塗装(メタリックシルバー)
プレート	ポリアセタール(黒)
操作ボタン	ポリアセタール(黒)
止めねじ	PC(ポリカーボネート)(透明)

- 垂直軸のアルミフレーム・角シャフトで手軽に位置決めができるブラケットです。
- アルミフレーム・角シャフトの端面・側面のどちらからでも取り付けが可能です。
- 操作ボタンを押すとロックが解除され、ブラケットの上下方向へスムーズな移動ができ、操作ボタンを離れた位置で保持されます。
- 上方向へは操作ボタンを押さなくても、力を加えることで移動できます。
- 止めねじのねじ込みを調整することで、アルミフレーム・角シャフトとのがたつきを低減させることができます。



- 最大5kgまで搭載できます。

## ● 仕様

単位: mm

	CUAB-30-A	CUAB-40-A
適用アルミフレーム・角シャフト	□30±0.54	□40±0.60
操作ボタン耐用回数*1	20,000回	

\*1: 参考値であり、保証値ではありません。

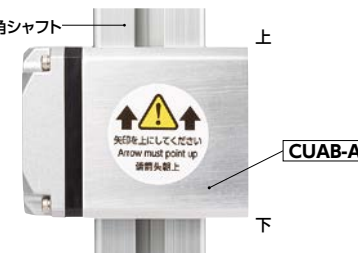
単位: mm

品番	L1	L	最大搭載質量(kg)	質量(g)
CUAB-30-A	29.5	69	5	420
CUAB-40-A	34.5	79	5	396

## ⚠ 使用上の注意

- 垂直軸に取りつけてください。
- **CUAB-A** は上下の取り付け方向が決まっています。上下を逆に取り付けると、**CUAB-A** がアルミフレーム・角シャフトを保持できません。
- **CUAB-A** は摩擦締結を利用した商品です。アルミフレーム・角シャフトに油などが付着し摩擦係数が低下しているときや、衝撃荷重や振動が発生している場合は、最大搭載質量が低下することがあります。
- **CUAB-A** の操作ボタンを押してワークを移動するときは**CUAB-A** またはワークを両手で支えて、操作してください。特に、重量物を搭載している場合は、操作ボタンを押したときに急に落下することがあります。
- アルミフレーム・角シャフトの材質・表面処理によっては、表面に傷がつく可能性があります。
- 過大な負荷が作用した場合、アルミフレーム・角シャフトが傷ついたり、**CUAB-A** が破損する可能性があります。
- 手袋をした状態で操作ボタンを押すと、手袋が操作ボタンとブラケット本体との隙間に挟まり、操作ボタンが戻らず保持できない可能性があります。
- 止めねじは、強くねじ込むと変形します。

アルミフレーム・角シャフト



- 取りつける際は、上下方向にご注意ください。



## ● 関連商品

取り付け可能なアングルヒンジがあります。  
クランプレバー保持タイプ **DFS-H**  
六角ナット保持タイプ **DFSN-H**  
回転制限タイプ **DKBR-H**

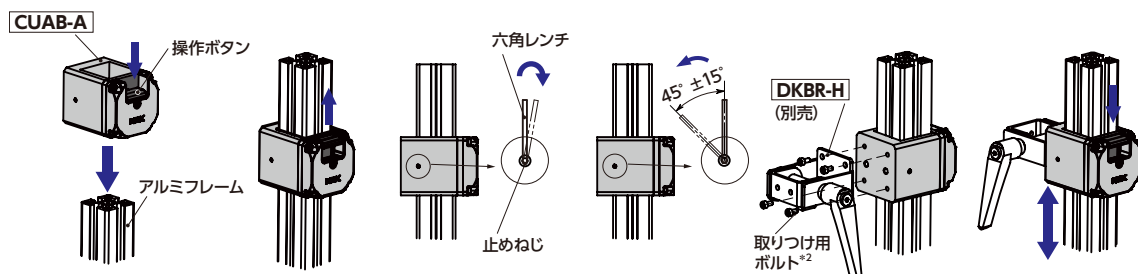


- 品番指定 ※価格・納期はNBKウェブサイトをご覧ください。

**CUAB-30-A**

## ● 取り付け

## ● アルミフレーム・角シャフトへの取り付け方法(端面から取り付け)

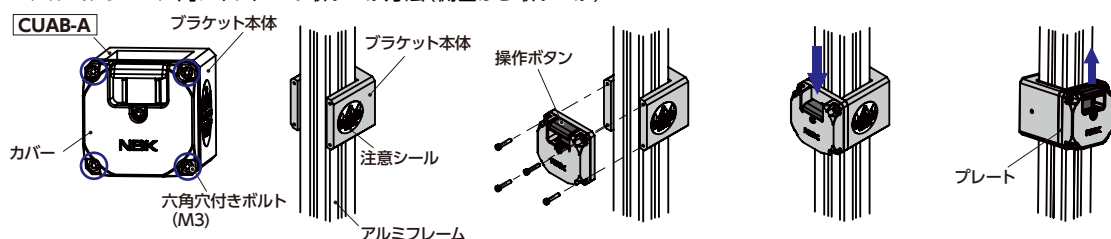


- ① **CUAB-A** の操作ボタンを押し、ロックを解除した状態で、アルミフレーム・角シャフトへ挿入します。
- ② 操作ボタンを離すと、**CUAB-A** が保持されます。
- ③ 六角レンチ<sup>\*1</sup> またはマイナスドライバーで止めねじをアルミフレーム・角シャフトへ軽く押し当てます。
- ④ 押し当てた止めねじを  $45^\circ \pm 15^\circ$  緩めます。
- ⑤ **CUAB-A** が保持された状態でワークを取り付けます。
- ⑥ 再び操作ボタンを押すことで、**CUAB-A** を任意の位置に移動できます。

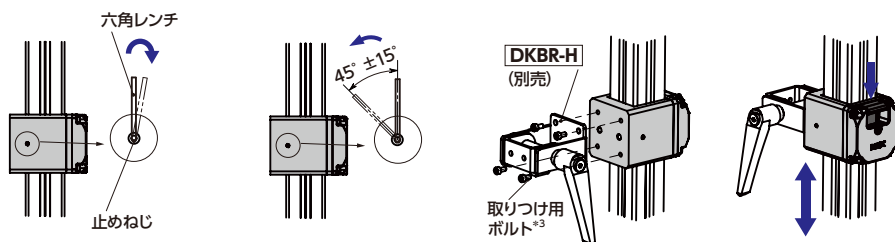
\*1: 止めねじの六角穴二面幅の呼びは1.3mmです。

\*2: 取り付け用ボルトは付属していません。

## ● アルミフレーム・角シャフトへの取り付け方法(側面から取り付け)



- ① **CUAB-A** のカバー四隅の六角穴付きボルト×4を六角レンチで緩め、カバーを外します。
- ② 注意シールの向きに合わせて、アルミフレームへブラケット本体をはめ込みます。
- ③ 操作ボタンを上向きにした状態で、カバーをブラケット本体に仮固定します。
- ④ 操作ボタンを下まで押し込んだ状態で、カバー四隅の六角穴付きボルトを締めつけます。<sup>\*1</sup>
- ⑤ 操作ボタンを離すと、**CUAB-A** が保持されます。プレートとブラケット本体の間に隙間がないことを確認します。



- ⑥ 六角レンチ<sup>\*2</sup> またはマイナスドライバーで止めねじをアルミフレーム・角シャフトへ軽く押し当てます。
- ⑦ 押し当てた止めねじを  $45^\circ \pm 15^\circ$  緩めます。
- ⑧ **CUAB-A** が保持された状態でワークを取り付けます。
- ⑨ 再び操作ボタンを押すことで、**CUAB-A** を任意の位置に移動できます。

\*1: 参考締めつけトルク: 0.315N・m

\*2: 止めねじの六角穴二面幅の呼びは1.3mmです。

\*3: 取り付け用ボルトは付属していません。